

# 1. 小金井桜のはじまり

武蔵野は月も入るべき山もなし  
尾花が末にかかる白雲 源 道方

一面ススキばかりの広漠とした武蔵野の原野を、一直線に流れる玉川上水が完成し、新田開発がはじまった。八代將軍吉宗は財政再建のため、享保改革で更に新田開発を命じた。当時の武蔵野はほとんどが畑作で、水が乏しく、肥料分の少ない畑だったうえに、凶作続きで逃げ出す農民、餓死する人さえ出ていた。

そんな中、川崎平右衛門定孝が武蔵野新田世話役として幕府の役人に登用され新田の復興にあたった。

元文2年(1738)川崎平右衛門は、小金井橋を中心に玉川上水の両岸・東西約4キロに、大和吉野・常陸桜川等から「ヤマザクラ」の苗木を取り寄せて植えさせた。

その理由は

- ・ 桜が根を張って堤を守る
- ・ 夏季には日陰をつくり往来の人々の休息の場となる
- ・ 花や若葉が往来の人々の目を楽しませる
- ・ 桜の花が上水に落ち解毒作用がある

等と記されているが、実は新田に名所を作り、花見客を誘致して地域の活性化を図ろうとしたもので、今でいう村おこしであった。

その成果は約50年後の寛政年間(1790年代)になると小金井桜の見事さが評判となり、さらに文化・文政(1804~1830)の頃は、江戸一番の桜の名所として知れ渡ることになった。

上水沿岸の農民たちは、花見客に座敷を開放したり、茶店を出す等大変貴重な収入を得ることが出来た。ことに小金井橋のたもとの「酒楼柏屋」付近は大変な賑わいで、上水両岸には料理屋や休憩所がずらりと並んでいた。

イラスト 小平市図書館編 としよかんきょうどしりょう No.17



かやわたる 原画 賀陽 済 武蔵野小金井桜順道絵図 (明治元年頃)

名勝境界石 (上流側・左岸)



川崎平右衛門像

# 2. 江戸の名勝に

小金井桜の見事な様子は、街道を行き来する馬子たちの口伝えによって次第に知られていった。

俳人露庵有佐の「玉花勝覧」、大久保狭南の「金橋桜花」など、今でいうガイドブックにより広く知れわたっていった。小金井は江戸からおよそ28キロ片道約6~7時間を歩き、茶店で山菜、鮎などで休憩、昼食の後、上流の留橋(喜平橋)辺りまで花見をし、日帰りまたは一泊というコースをとったとされる。なんと昔の人は良く歩いたことか。

- ☆小金井桜を愛した文人たち
- 歌川(安藤)広重、江戸近郊八景・小金井橋夕照等
- 葛飾北斎 小金井橋桜標
- その他 長谷川雪旦、古川古松軒、太田南畝(蜀山人)、有馬蒼純、岡山鳥、屋代弘賢など多数。



小金井橋夕照 天保8年(1838)頃 歌川広重

## 豆知識

**川崎平右衛門定孝 (1694~1767)**  
元禄7年生まれ、押立村(現府中市)名主、武蔵野新田世話役、代官として村々の復興、救済に尽力した。人々から敬愛され、真蔵院(小金井市関町)、妙法寺(国分寺市北町)などに供養塔がある。

**桜からサクラへ**  
小金井桜の正式名称は、昭和25年、文化財保護法により漢字の「小金井(桜)」からカタカナ表記の「小金井(サクラ)」に変更された。

### 3. 江戸の名勝から東京の名勝へ

江戸から東京に変わっても花見の人気は衰えず、明治16年(1883)の明治天皇の行幸、また国木田独歩や田山花袋などの紀行文によって、ますます桜の名所としての評判が高くなった。

明治22年(1889)4月11日、小金井の花見時期に合わせて甲武鉄道(現 JR 中央線)が開通すると、新宿一境(現武蔵境)間が約30分と飛躍的に短縮された。

その3年後川越鉄道(現西武国分寺線)が、昭和2年(1927)現西武新宿線(花小金井駅開業)が運行開始、花見客の争奪戦は大変なものであった。

### 4. 東京の名勝から国の名勝へ

明治期後半になると花見の賑わいに反して桜並木の衰えが目立ってきた。

植物学者で桜の権威として知られる三好 学博士は、小金井桜<ヤマザクラ>に早くから注目、品種分類を行う一方、保存・保護の必要性を訴えた。

大正13年(1914)には、小金井・小平・保谷・武蔵野の有志が小金井桜会を結成し、東京市の保護事業を支援するとともに、小金井産の<ヤマザクラ>約3000本の補植を行った。

こうした小金井桜を守り育てたいという人々の熱意により、大正13年(1924) 奈良県・吉野山、京都・嵐山、東京・荒川堤等とともに国の名勝に指定された。

### 5. 受難の小金井サクラ

戦中、戦後の混乱期には管理が停滞し荒廃が進んだ。昭和29年(1954)に五日市街道の拡幅、舗装により通行の邪魔となる桜の根や枝が切断されたうえ、交通量の増加による排気ガスの影響を受け、樹々の衰えが進み堤での花見も出来なくなった。お花見の拠点は隣の小金井公園へ移行した。

### 6. 未来まで守り育てよう小金井サクラ

名勝指定の時には1471本あった桜も、昭和40年には730本にまで激減したが、平成5年の調査では1112本にまで回復した。全国にあまり例のないヤマザクラの並木は、平成11年東京都の歴史環境保全地域に指定され、熱心に保全活動に取り組む市民が増えている。

小金井と同時期に指定された荒川堤の里桜はすでに無く、向島や御殿山など桜の名所は変貌著しいなか、小金井桜が唯一江戸名所の名残をとどめている。260年の歴史を誇るヤマザクラ並木を、再び名勝と呼ばれるにふさわしい景観を取り戻すよう、みんなの手で守り育てていきたいものである。

### 豆知識

小金井サクラはどこからどこまで

国の名勝として指定されているのは小平市学園西町1丁目商大橋上流の旧小川水衛所跡から武蔵野市関町5丁目の境橋までの約6キロの両岸。この区間のサクラには「通し番号札」が付けられている。

## 玉川上水ワンポイントガイド No.9

### 玉川上水と小金井サクラ



「明治期写真帳」 小金井橋を望む 名勝小金井 桜絵巻より

玉川の流れを引ける小金井の

桜の花は葉ながら咲けり 正岡子規

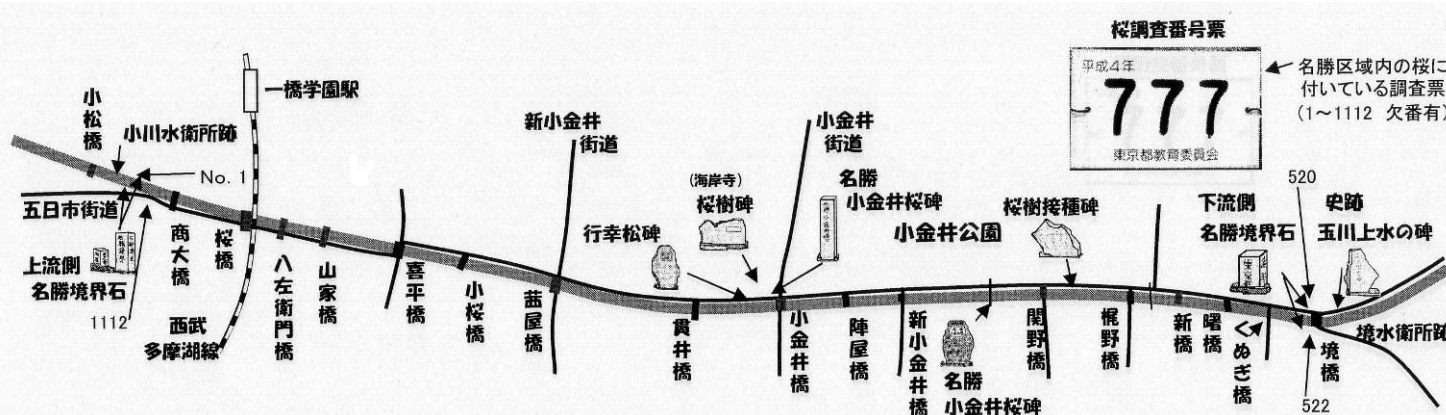
今日桜といえばソメイヨシノが主流。しかし小金井桜はヤマザクラ。个性的で気品にあふれる優美さを味わえる。

### シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

No	テーマ
1	玉川上水の概要
2	玉川上水の分水
3	玉川上水の分水・小平編
4	玉川上水と小平周辺の新田開発
5	玉川上水の橋
6	玉川上水の水車
7	玉川上水の通船・船溜り
8	玉川上水の樹木・野草・野鳥
9	玉川上水と小金井サクラ
10	玉川上水あれこれ
11	玉川上水お勧め散歩ガイド

発行 No.9 2007年12月

### 小金井サクラ イラストマップ



発行 小平・玉川上水再々発見の会  
E-mail tamagawasaisai@yahoo.co.jp  
代表 庄司徳治